

会頭就任のご挨拶

白河商工会議所会頭
鈴木俊雄

このたび、第30期の白河商工会議所会頭に選任いただきました鈴木俊雄でございます。二期目の就任にあたり、その重責に改めて身の引き締まる思いであり、地域の発展に尽力する決意を新たにしたいところであります。

さて、中小事業者等を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化による経済の縮小に加え、構造的な人手不足、その人材を確保するための賃上げの圧力やデジタル技術活用による生産性の向上、それらの経費を賄うための価格転嫁、更には後継者不足による事業承継の問題など、様々な課題が山積しております。こうした厳しい時代を生き残るには、常に自己変革を図り、地域の力を結集し、ピンチをチャンスに変えていく発想と気概が重要であります。

そのため、今期においては、「人材の確保」・「産業の強化」・「観光の振興」・「地域の活性化」の4つに重点を置いて、時代の変化を的確に捉え、適切な対策を講じながら地域経済の持続的な発展を目指してまいります。

まず「人材の確保」では、地元就職・インターンシップなどを産学官の連携で進めるとともに、若者の還流や

移住・定住の促進、女性・シニア・外国人材の活躍を支援し、多様な人材が力を発揮できる地域を目指します。次に「産業の強化」として、六次化による高付加価値化やDX導入による効率化など地場産業の底上げを図るほか、販路拡大や事業承継、スタートアップの支援などに取り組みます。また、地域内での資金循環を高めるための仕組みづくりも推進してまいります。

「観光の振興」では、白河の歴史・文化・自然・食といった地域資源を再発掘し、地域が一体となった魅力の発信と交流人口の拡大を図ってまいります。

「地域の活性化」では、引き続き空き店舗の活用や商店街の再生に取り組むとともに、市の複合施設「しらふる」の開設も見据えながらイベント等を通じた中心市街地の賑わいや交流の創出を進め、更には、防災レジリエンスの強化にも努めてまいります。

結びに、地域の未来を切り拓くのは、郷土を愛する一人ひとりの情熱と、互いに支え合う力です。白河商工会議所は、70名の新議員体制のもと役員として会員の皆様が一丸となって、白河の将来の発展へとつなげてまいりますので、今後とも、商工会議所への変わりぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和七年十一月

白河商工会議所
第30期 会頭 鈴木 俊雄

「寄り道できる美容室」

白河まちなかに新しい居場所を



創業支援との出会い

2019年、白河市本町にオープンした理美容室「Detour」。店名はフランス語で「より道をする」を意味しています。

高校卒業後に美容師として経験を積んだ齋藤さんは、独立開業を目指すなかで、白河商工会議所と出会いました。

日本政策金融公庫の創業融資や白河市の空き店舗補助金を活用するにあたり、事業計画の立案や資金計画の整理など、一連の手続きに当所の伴走支援を利用しました。

「資金繰りや数字の組み立てなど、自分一人では不安が多かった。収支シミュレーションと一緒に作り上げてもらえたことで、開業の道筋が見えました」と齋藤さんは語ります。

単なる手続き支援にとどまらず、メニュー構成や価格設定、新規顧客の獲得戦略など、実際の経営を見据えた具体的なアドバイスが開業への大きな後押しとなりました。

地域での活動

「Detour」には、髪を切る場所にとどまらず、まちなかの「寄り道スポット」として親しんでもらいたいという齋藤さんの思いが込められています。

そのため、店内にはダーツやゲーム機、漫画やフィギュアなどが並び、美容室というよりも遊び場のような空間づくりが特徴です。

また、レジ横スペースを活用したチャレンジショップでは、地域の個人事業者の商品を仕入れ価格のまま販売しています。

「お客様同士のつながりが生まれ、

まちの新しい賑わいにつながれば」

との思いで、地域発の小さな循環を生み出しています。

全国誌にも複数回取り上げられ、MEN'S NON-NO、CLASSY、MORE、InRedなどで紹介されました。

「新規客が増えたこともさることながら、常連のお客様が喜んでくれたことが嬉しかった」と語り、掲載が顧客との信頼関係を深めるきっかけにもなったと言います。

今後の展望

齋藤さんは今後、新店舗展開の実現を目指しています。まずはスタッフを増やし、安定したチーム運営を進めたいと考えています。

「誰でも良いわけではない、Detourで働きたい」と自ら志願してくれる人と一緒に成長していきたい」と語り、人材育成と組織づくりを重視しながら地域に根ざした多店舗展開に向けて、着実に歩みを進めています。

レディースはもちろん、メンズのカットもお任せください！



参加申込書

相談会等に参加希望の方は、この「参加申込書」をコピーしていただき必要事項を記入のうえFAXにてお申込みください。

- ☐ 法律相談会 (12月9日(火))
- ☐ 金融相談会 (12月10日(水))
- ☐ 経営よろず相談会 (12月23日(火))
- ☐ HPやSNS、オンラインショップに関するご相談(随時)
- ☐ 省エネ・省CO2でコスト削減対応セミナー (11月19日(水))
- ☐ 働き方改革で魅力ある職場づくりの秘訣セミナー(12月5日(金))
- ☐ 聴く・訊く・伝える実践コミュニケーションセミナー(12月16日(火))

ご希望の項目にチェックを入れてください

FAX送付先 0248-22-1300

御社名	
ご住所 〒	—
TEL	
FAX	
e-mail	
参加者ご氏名	
相談会ご希望の方は、希望時間をご記入ください	
第1希望	第2希望

※各セミナーは、折込チラシの申込書に記入しお申込みいただくことも可能です。

世界初の予防保全 工事を間近で見学

建設業部会

〈北野牧工事現場を視察〉

白河商工会議所建設業部会では、10月3日（木）に上信越自動車道・北野牧工事現場（群馬県安中市松井田町）の視察研修会を開催しました。当日は会員10名、事務局4名が参加し、世界初となる「災害に備える予防保全工事」の現場を見学しました。

このプロジェクトは、供用中の高速道路トンネル抗口直上にそびえる高さ約70メートルの崖面の岩塊（約9万5千㎡）を除去し、将来的な落石リスクを未然に防ぐというものです。

視察では、施工担当者から工事の経緯や安全対策、最新技術の活用事例などについて詳しい説明を受け、部会員一同熱心に耳を傾けました。また、実際にトロッコで現場に向かい、重機で岩盤を砕き、撤去する工事を間近に見学し、今後の事業に活用可能な多くの学びを得る貴重な機会となりました。



復興への道筋と 先端農業を学ぶ

〈庶業部会・工業部会

合同視察研修会〉

白河商工会議所庶業部会・工業部会では、会員の知見を広げるとともに、会員相互の交流を図ることを目的として、10月21日（火）に合同視察研修会を開催しました。

当日は会員17名、事務局3名が参加し、「福島県イノベーションコースト構想」の現状を視察するため、福島第一原子力発電所、東京電力廃炉資料館、ワンダーファームを訪れました。

福島第一原子力発電所の構内では、廃炉に向けた作業が進められている現状を目の当たりに見学し、東京電力廃炉資料館の視察では、事故が起こった背景やそこから得られる教訓、今後の取り組みなどについて詳細な説明を受けました。

また、ワンダーファームでは、大型のハウスの中で行われているトマトの栽培について、施設の特長や品種、出荷先などの説明を受けました。

福島県浜通り地方における復興の取り組みへの理解と会員相互の交流を深めることができた大変有意義な研修となりました。



牧之原市へ義援金を 届けました

今年9月の台風15号で甚大な被害を受けた静岡県牧之原市を支援するため、役員及び議員事業所の皆様に協力をお願いし、「災害義援金」の募集を実施いたしました。

白河市と牧之原市は、大河ドラマ「べらぼう」に登場する田沼意次と松平定信のゆかりの地として、文化や観光を中心に交流を深めています。

短期間での呼びかけにもかかわらず、多くの皆様から温かいご支援をお寄せいただき、総額223,000円を10月22日に送金しました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、今回の義援金募集にご賛同・ご協力いただきました事業所に、深く感謝申し上げます。

〈寄付者〉（順不同）

㈱アクティブワン／㈱あおき／㈱昭和堂／㈱高砂ホンダモーター／福島県南土建工業㈱／税理士法人大手門会計／合同会社大手門マネジメント／㈱共和建商／医療法人社団慈泉会／白河信用金庫／南湖神社／白河商工会議所



白河駅前イルミネーション フォトコンテスト

12月5日（金）～1月31日（土）まで、白河駅前を中心にイルミネーションが街にヒカ리를灯します。期間中、フォトコンテストを実施いたしますので、各SNSで「＃白河駅前イルミネーション2025」とハッシュタグをつけてご投稿ください。入賞者には下記の賞品をプレゼント！

- ・グランプリ(1本) 2万円分JCB商品券
- ・準グランプリ(1本) 1万円分JCB商品券
- ・入選(5本) 地場産品詰め合わせセット(3千円相当)

しらかわ冬の グルメフェス

白河駅前がイルミネーションのヒカりに包まれるこの日、県内で人気のキッチンカーが集結し、自慢のグルメを販売します。白河商工会議所青年部・女性会一同、心も体も温まる一品を用意して皆さまをお待ちしています。冬の夜空の下、あたたかい食と人のぬくもりをお楽しみください。

日 時：12月5日（金）17：00～20：00
場 所：白河駅前イベント広場駐車場



会員交流ゴルフ大会 優勝おめでとうございます！

優勝 白河信用金庫 鈴木 一永 様



10月4日（土）、白河ゴルフ倶楽部にて「令和7年度 白河商工会議所 会員交流ゴルフ大会」を開催しました。当日はゴルフ日和の秋空のもと、会員相互の交流を目的に47名が参加し、那須・権太倉の2コースに分かれてプレーを楽しみました。開会式では鈴木 俊雄 会頭のあいさつの後、鈴木 清次 総務運営委員長から競技説明が行われ、新ペリア方式で熱戦が繰り広げられました。各ホールにはドラコン・ニアピン賞が設けられ、大変盛り上がりしました。ゴルフを通じて会員相互の親睦や交流が深まり、今後のビジネスや地域振興での連携を図る上で有意義な機会となりました。開催に当たり、多くの会員さまより景品のご協賛を賜り、誠にありがとうございました。



がんにならずに、
人生を歩むために。



●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ）」、「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

アクサ生命

経営者ご自身と 会社を守るがん保険

アクサの
治療保障の
がん保険
マイセラピー
ガン治療保険（無解約払い戻し金型）

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度／福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
郡山支社 白河営業所
〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 白河商工会議所2F
TEL 0248-23-4143

白河商工会議所 第30期 役員・議員の体制決定

白河商工会議所では、任期満了に伴う役員・議員の改選を行い、新体制をスタートしました。

新役員・議員の顔ぶれは記載の通りです。（任期 令和7年11月1日～令和10年10月31日）

 鈴木秀俊 白河信用金庫 専務理事	 外山康則 日本工機㈱白河製造所 取締役製造所長	 奥田健治 東北ガス㈱ 代表取締役社長	 松本義則 ㈱松本工務店 代表取締役会長	 金内貴弘 ケンサーチ㈱ 代表取締役	 佐藤憲一 ㈱高砂ホンダモーター 代表取締役	 佐藤俊彦 税理士法人大手門会計 代表社員	 三上 覚 東北電力ネットワーク㈱ 白河電力センター 所長	常 議 員	 鈴石敏明 白河商工会議所 専務理事	専 務 理 事	 鈴木雅文 ㈱昭和堂 代表取締役	 青木かおる ㈱あおき 代表取締役会長	副 会 頭	 鈴木俊雄 ㈱アクティブワン 代表取締役	会 頭
 藤田龍文 ㈱藤田本店 取締役	 難波恭二 ㈱難波平八郎商店 代表取締役	 中上 誠 ㈱中商 専務取締役	 清野正人 ㈱東邦銀行白河支店 執行役員白河支店長	 大平准司 住友ゴム工業㈱白河工場 工場長	 高田雅也 アクサ生命保険㈱ 白河営業所 営業所長	 高 裕 ㈱赤門 代表取締役	 佐藤靖一 ㈱さとう総合印刷 代表取締役	 鈴木清次 ㈱鈴木建設 代表取締役	 人見守良 白河通運㈱ 代表取締役会長	 奥野啓道 アズビル金門エナジー プロダクツ㈱ 代表取締役社長	 増子公夫 ㈱共和建商 代表取締役会長	 大竹真人 ㈱福島銀行白河支店 白河エリア統括店長兼 白河支店長	 竹井和之 ㈱K'sクリエイトとら 代表取締役	 野田裕昭 E.Aファーマ㈱福島事業所 事業所長	
 吉川幸雄 吉川幸雄法律事務所 所長	 渡部 孝 ㈱ワタベ印刷所 代表取締役	 土師隆志 ㈱川金ダイカスト工業 取締役副社長	 深谷輝雄 ㈱加藤螺子製作所白河工場 工場長	 小野喜治 福島県南土建工業㈱ 代表取締役	 金田 昇 ㈱昇栄 代表取締役	 鈴木豪彦 根田醤油合名会社 専務取締役	 渡部真樹 ㈱(医社)慈泉会 理事長	 緑川直人 小田川運輸㈱ 代表取締役	 古川雅裕 ㈱大黒屋 代表取締役	 瀬谷隆志 合同会社イロドリ 代表社員	議 員	 藤田祐太郎 高田産商㈱ 最高顧問	 有賀秀晴 ㈱有賀会計センター 代表取締役	 渡邊知久 ㈱常陽銀行白河支店 支店長	監 事
 安澤明宏 大成商事㈱ 代表取締役社長	 菊地 理 ㈱大洋社 代表取締役	 渡辺浩志 渡辺工務店㈱ 代表取締役	 渡部秀昭 福島県商工信用組合白河支店 支店長	 遠藤 敦 ㈱緑川産業 代表取締役	 中島洋志 ㈱ナカジマエレクトク 代表取締役社長	 糸井勝人 パナソニックオートモーティ ブシステムズ㈱白河工場 工場長	 細田正則 三菱ガス化学㈱QOL イノベーションセンター白河 管理部長	 池嶋公二 白河商事㈱ 専務取締役	 安田貴久 ㈱松新酒店 社員	 大木清一 ㈱八千代 代表取締役会長	 渡邊陽一郎 ㈱朝日ラバー 代表取締役社長	 齋藤孝弘 ㈱齋藤商店 代表取締役	 中目公英 南湖神社 宮司・代表役員	 圓谷真吾 ㈱大東銀行白河支店 支店長	 藤田文生 ㈱緑川石材店 代表取締役
新体制で運営してまいりますので、 会員各位のご指導・ご支援をよろしく お願いいたします。															
 草野正人 ㈱元湯甲子温泉 代表取締役	 原田昌明 原田司法書士事務所 所長	 今井勝浩 日本実業㈱ 代表取締役	 渡邊守栄 白河だるま総本舗 代表	 金子善弥 三金興業㈱ 代表取締役	 櫻岡敏之 ㈱サクラテック 代表取締役	 斎藤慎一 ㈱斎藤銃砲火薬店 代表取締役	 國井高利 ㈱くに 専務取締役	 鈴木一男 ㈱大谷屋 代表取締役	 十文字光伸 丸昌不動産㈱ 代表取締役	 高山輝行 ㈱高山不動産 代表取締役	 柳田浩志 東北ボール㈱白河工場 工場長	 菊池俊一郎 丸水白河魚市場㈱ 代表取締役社長	 兼子 聡 ㈱兼子組 代表取締役		

新体制で運営してまいりますので、
会員各位のご指導・ご支援をよろし
くお願いいたします。

ご提出のお願い

～特定商工業者法定台帳・負担金同意書～

「商工会議所法」では、一定規模以上の商工業者（特定商工業者）の事業概要を記載した「商工業者法定台帳」を登録し、管理することを定めています。対象事業者の皆様には、11月中旬に送付する法定台帳をご確認の上、ご提出くださるようお願いいたします。

なお、今年4月以降に会員加入した特定商工業者の皆様には法定台帳と共に「特定商工業者負担金賦課ならびにご同意のお願い（同意書）」も同封しましたので、併せてご提出をお願いいたします。

CONTACT US

白河商工会議所 企画総務課 ☎ 23-3101

LOBO調査報告

本調査は、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を毎月調査し、その結果を集計・公表しています。

建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
				

業況の全産業DIは前月と比べて-0.1ポイント下降しました。業種別に見ると、卸売業は+0.3ポイント上昇しました。一方で建設業は-0.5ポイント、小売業・サービス業は-0.3ポイント、製造業は-0.2ポイント下降しました。規模別で見ると、小規模は-0.1ポイント、それ以外は-0.2ポイント下降しました。

※DIとは…「好転」の回答割合 - 「悪化」の回答割合

日本商工会議所
LOBO調査HP年末調整の準備は
お済みですか？

～年末調整相談会～

【日 時】令和7年12月3日・10日・17日・24日 各日(水)
【時 間】午前10時から午後4時まで
(但し、正午から午後1時の間を除く)

【会 場】白河商工会議所

【用意・持参するもの】

- ①令和7年1月～12月の賃金台帳及び源泉徴収簿
- ②従業員、専従者の住所・氏名・生年月日・扶養者等
- ③従業員、専従者の各種控除証明書類

※来所された方から順次、ご相談を受け付けます。
お待ちいただくこともありますので、ご了承ください。

CONTACT US

白河商工会議所 中小企業相談所 ☎ 23-3101

そのお悩み、専門家に
相談してみませんか？

～ 専門家相談会 ～

事前にご予約をお願いします ☎0248-23-3101

内 容	相 談 機 関	日 時
HPやSNS、オンラインショップに関するご相談	渡邊 功 上級ウェブ解析士	随時 (事前予約)
無料法律相談	吉川 幸雄 弁護士	12月9日(火) 13時～15時
金融相談	日本政策金融公庫 郡山支店国民生活事業	12月10日(水) 10時30分～12時
無料経営相談	福島県よろず支援拠点	12月23日(火) 10時～16時
働き方改革相談	福島県働き方改革 推進支援センター	随時 (事前予約)

敬老祝い商品券換金日

敬老祝い商品券の換金は、取扱規定に定めた申請書に必要事項をご記入の上、申請日までに会議所へFAX又は窓口でお申し込みください。

事前申請日

11月20日(木) ➡ 11月25日(火)

12月 5 日(金) ➡ 12月10日(水)

年会費改定のお知らせ

当所では、45年間据え置いてきた年会費を令和8年度から新たな「口数単価」及び法人・団体会員においては新たに「資本金・出資金に応じた会費基準」に改定いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の皆さまには、11月中旬に「会費改定のお知らせ」をお送りしておりますので、ご確認のうえ、ご返送をお願いいたします。なお、届いていない場合はご一報下さい。



潮流を読む

株式市場の上昇を

中長期的に維持するためには

9月18日に
日経平均
株価の終値は、
4万5303円と
なり、初の終値
4万5千円台となっ

た。TOPIXは9月16日に3168.36と史上最高値を更新した。日経平均株価が史上最高値を更新した同日に、日本銀行が発表した「2025年第2四半期の資金循環（速報）」によると、25年6月末時点での家計の金融資産残高合計は前年同期比1%増の2239兆円と過去最高を記録した。その内訳として、現金・預金は同▲0.1%のマイナスであったが、投資信託が同9.0%増の140兆円（構成比6.3%）、株式等が同4.9%増の294兆円（構成比13.1%）となった。背景には、冒頭のように株式相場が上昇して株式等の残高を押し上げたこと、新NISA（少額投資非課税制度）を通じた投資信託の資金流入が高水準で続いたことなどが挙げられる。

この株式市場の上昇はどこまで続くのか。デフレ局面を脱して名目GDP（国内総生産）の成長が見込まれること、「貯蓄から投資へ」の流れが続くことなどにより、今後、多少の下落局面はあるものの、中長期的に株式市場の上昇は持続する可能性が高まっているといえよう。この点について、昨年度（24年度）、大和総研の中期予測モデルなどで23年度から10年後の33年度の家計金融資産残高のうち株式・出資金の

残高とTOPIXの水準を予測した。まず、名目GDPは23年度の597兆円から、33年度まで年平均2.8%増加し、788兆円に成長すると予測している。これを前提に、TOPIXは23年度の2345から2.6倍の6113まで上昇するとしている。これにより家計金融資産のうち株式・出資金は23年度の262兆円から33年度には504兆円とほぼ倍増すると推計している。株式等が家計金融資産に占める割合は33年度には20%程度になると予測される。

家計金融資産残高合計についても予測している。前述の通り、名目GDPの堅調な増加、株価指数の上昇や家計の貯蓄（黒字）の積み上がりなどにより、今後も拡大傾向が続く、35年度末（36年3月末）に3022兆円程度になると見込む。24年3月末時点の1.4倍程度（年率+2.7%）に相当する。また、家計金融資産残高の増加ペースは、過去20年（1.5倍、年率+2.1%）と過去30年（1.9倍、同+2.2%）の変化よりも一定程度加速する。これに伴い、1人当たり家計金融資産残高は、35年度末に2591万円程度になると見込まれる。試算値であり幅を持つて見る必要があるものの、日本経済の持続的な成長を背景に、家計金融資産残高の拡大は今後も続くというのが基本シナリオとなる。ただし、前記の予測は、全てが順調にいくとの前提で、若干楽観的なシナリオとなっている。今後想定されるリスクシナリオとしては、日本経済が再びデフレに陥るケースや2000年代後半の世界金融危機のような事態が

発生するケースなどが挙げられ、その場合、家計金融資産残高は24年度の試算結果から下振れることになる。

基本シナリオの通りであれば、今後10年間で政府が資産所得倍増プランを実現できることとなる。しかし、これだけでは、家計の持続的な所得向上につなげていくことは難しい。株式・出資金の比率は、過去に金融危機などで株式相場が下落すれば、大幅に低下してきた。その株式市場では、国内企業の経常利益の変動が大きくとなると、それに伴い市場の変動幅（ボラティリティ）が高くなる。このように株式相場が急激に変動することも考えられる中で、中長期的に資産所得を安定させるために、個人投資家には、自身の金融リテラシーの向上とともに、金融機関の提供するリスク管理を含む包括的な投資アドバイスが必要となる。これらを定着させる取り組みは、株式市場からの過度な資金の流出を防ぎ、株式市場の安定的な上昇につながっていくであろう。

文〃株式会社大和総研
金融調査部 主席研究員
内野 逸勢